

松元公民館だより

～学び・つどい・つながる「松元公民館」～

令和6年8月号



いぶきまつもと

右の二次元
コードから公
民館だよりを
閲覧できます



〒899-2703 鹿児島市上谷口町3366-1
TEL 099-278-1312 FAX 099-278-3830

『湯呑とともに』

主査 桑畑 勇二

今年度、4月に着任いたしました。主査の桑畑 勇二（くわはた ゆうじ）と申します。松元公民館で仕事ができることを大変うれしく思っております。

さて、お茶の里松元ということで、わたしの思いも込めて1つお話ししたいと思います。

教員という職業柄、引越しはつきものです。4月、段ボールの中にはたくさんの本や教具、そして、その中に必ずあるのは『湯呑』です。（教員あるあるなのですが、マイカップとともに異動します。）しかし、なぜか今回は湯呑がない。どこを探しても湯呑がない。バタバタと島から引越ししてきたことがよくわかります。

「よかったら、どうぞ。」本館には、陶芸の自主学習グループがあります。たくさん並ぶ陶器の中で、1つの湯呑が私を呼んでいます！「これがいいです！」誰よりも先に、大きな湯呑を選びました！これが、主査として仕事を始め、松元公民館で出会った『湯呑』のお話です。



いつもお茶を飲みながら、湯呑をぎゅっと手で包み、人の温かさを感じています。利用者の皆様の笑顔や笑い声、ラウンジや学習室を利用する方々の真剣な眼差し、図書室に向かうお子さんの足音…湯呑とともに、松元公民館を大切にしたいという思いは、これからも変わりません。

利用者みなさんが、いつでも笑顔で利用していただける松元公民館になるよう努力してまいります。私たち職員は、利用者の皆様の来館をいつでもお待ちしております。

学び・つどい・つながる「松元公民館」

先日、松元公民館のある講座で当番をされた方（以下、Aさん）が、講座が終わり、片付けをしていた私に、「この講座に参加して本当に良かったです」と言われました。どういうことか聞いてみますと、講座でグループに分かれて活動することになり、たまたま同じグループで隣になった方（Bさん）と話をしたら意気投合し、電話番号の交換をして、ランチの約束までされたそうです。「この講座に参加していなかったら、Bさんとは知り合えていなかった。だから、参加して本当に良かった」と。

この話を館長はじめ職員で共有して喜び合いました。それから何日かして、Bさんが公民館にいらっしゃったので、「Aさんとのランチはどうでしたか」と聞くと「この前一緒に行って来ました。楽しかったです」と、続けて「明日は私の家で会うことになっています」と嬉しそうに話されました。こちらまで嬉しくなりました。

松元公民館のキャッチフレーズである「学び・つどい・つながる」を実践してくださっている方がいる。そして、公民館の講座がその一助になっている。ということを実感しました。今後も皆さんが興味・関心を抱き、受講してみたいなと思える講座を計画していきます。さらに、職員一丸となって来館される方に気持ちのいいあいさつと笑顔を届けていきます。



松元公民館入り口 七夕飾り

皆さんの笑顔がはじけた前期公民館講座



【はじめての韓国語】夜間

母音やパッチムなど難しそうに感じたが、少しずつ発音できるようになった。韓国ドラマを字幕なしで見たい！！



【はじめてのパソコン】

文書や図形を初歩から学べて有り難い。エクセルやワードが少し理解できた。グーグルマップの検索が楽しいな～。



【ペンで美文字】

ずっとくせ字で大変損をしてきた。毎回、目からうろこで、添削指導してもらい文字が美しくなったような・・・。



【手話でコミュニケーション】

手話の歴史を理解しながら、指文字や名前の表現方法など学習した。手話で少しずつでも会話ができるようになりたい。

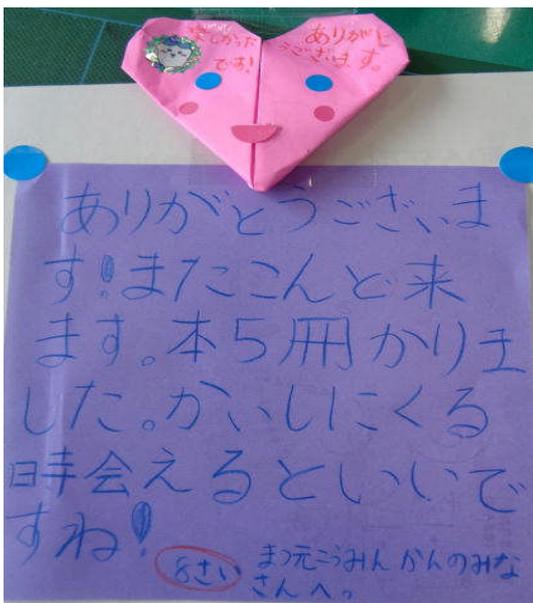
公民館だより7月号で紹介できなかった4つの前期講座の様子です。どの講座も意欲的に活動に取り組み、楽しく学んでいます。閉講式のあった講座もあり、まだ続けたいという声も聞かれました。

できなかったことが少しできるようになったり、知らなかったことを新たに知ることができたり受講生の皆さんにとって実り多き活動だったのではないのでしょうか。アンケートや皆さんの声を参考に今後の講座も工夫していきたいと考えています。

夏休みには絵画や陶芸、おやつ作りⅠ、Ⅱ、科学実験の講座など親子で取り組める講座を実施します。(ほとんどの講座で希望が多く抽選になりました。漏れた方はごめんなさい)

また、魅力ある後期講座を計画しています。詳しくは公民館だより9月号でお知らせいたします。多くの皆様の御応募をお待ちしています。

今月の一枚(天使のラブレター)



8歳の天使からのお手紙が6月23日(日)公民館のラウンジのテーブルにそっと置いてありました。このお手紙で2年生の国語で習う「お手紙」を思い出しました。そのお話は、がま君とかえる君が主人公で、お手紙を一度もらったことのないがま君がお手紙が来るのを待ちわびていて、心優しいかえる君はがま君に内緒でお手紙を出し、それを郵便屋さんのかたつむり君が届けてくれるのを二人で待っているというお話です。

最近、鹿児島県内でいいニュースがあまりないところへ、この天使からのお手紙に、館長はじめ、職員は大感激。涙がちょちょぎれそうになりました。この8歳の天使は、2年生で学習した国語「お手紙」を実践してくれたのでしょう。それを温かく見守っている保護者の方、思いやり溢れる家族の中で育まれている天使の様子が目に浮かびます。

また、松元公民館に御家族で来てくださいね。心よりお待ちしております。本当にありがとうございました。

公民館はクーリングシェルター

梅雨明けして暑い日が続いています。そんな時は熱中症予防もかねてどうぞ、松元公民館に涼みに来てください。電気代はいただきませんよ。学習室やラウンジで学習したり、読書したり、休憩したりしてください。いつでも涼しくしてお待ちしています。